

算数では最も大きいのが④の「量と測定(49.5)」で最も小さい領域は③の「問題解決(41.4)」である。いずれの領域も40点台のひらきが認められる。

中学校の国語では、最も差の大きい領域は③の「読解(30.0)」で、最も小さい領域は④の「書写(19.1)」である。小学校国語ほどのひらきは認められない。

数学では、最も差の大きい領域が④の「数量関係(47.1)」で、小さい領域③の「図形(36.6)」で、いずれも40点前後のひらきがみられる。

7 第13回全国統計教育研究大会

第13回全国統計教育研究大会は、つぎの要領で実施された。

(1) 研究 主 題

「統計を生かした学習指導」

(2) 期 日

昭和42年10月30日(月)・31日(火)

(3) 会 場

全体会 福島市公会堂
公開授業・分科会・パネルディスカッション

〔第1日(10月30日)〕(福島第四小学校・福島西女子高等学校・福島盲ろう学校)

8.40 9.40 10.30 10.40 12.00 1.00 2.30 2.50 4.00

受 付	公開授業	休 憩	小・中 パネルディスカッション 高 分科会(研究発表)	昼 食	小・中・高 (研究発表・討議) 分科会	休 憩	小・中・高 分科会
-----	------	-----	--------------------------------	-----	---------------------------	-----	--------------

〔第2日(10月31日)〕(福島市公会堂)

8.30 9.00 9.30 10.30 10.40 11.00 12.00 12.20 1 00

受 付	開 会 式 表 彰	全体発表	休 憩	講 評	全 体 講 演	閉 会 式	昼 食 郷土芸能の発表	観 光
-----	--------------	------	-----	-----	---------	-------	----------------	-----

(7) パネルディスカッション

小学校「小学校において統計を生かした学習指導はどうあるべきか」

中学校「中学校において統計を生かした学習指導はどうあるべきか」

(8) 全 体 研 究 発 表

「各教科・領域の指導目標と統計教育のねらい」
(福岡県京都郡苜田町立苜田小学校)

「統計教育評価の観点とその要素」
(大阪市立丸山小学校)

「統計ワークブックの作成と活用」
(福島市立福島第三小学校)

(9) 公 開 授 業

(小学校) 社会・算数・理科・学級会・道徳
(中学校) 社会・数学・理科・保健
(高等学校) 数学・商業一般

(10) 分 科 会

小学校社会・小学校算数・小学校理科・小学校体育・中学校保健体育・小学校特活・中学校社会・中学校数学・中学校理科・小学校家庭中学校技術家庭・中学校特活・高等学校数学・高等学校商業・振興研究体制の13分科会

小・中学校-----福島市立福島第四小学校
高等学校-----福島県立福島西女子高等学校

(4) 主 催

全国統計教育研究会・北海道・北海道教育委員会・青森県・青森県教育委員会・秋田県・秋田県教育委員会・山形県・山形県教育委員会・宮城県・宮城県教育委員会・岩手県・岩手県教育委員会・福島県・福島県教育委員会・福島市・福島市教育委員会・福島県統計教育研究会・福島県小学校教育研究会・福島県中学校教育研究会・福島県高等学校教育研究会。

(5) 後 援

文部省・行政管理庁・全国統計協会連合会・北海道統計協会・青森県統計協会・秋田県統計協会・山形県統計協会・宮城県統計協会・岩手県統計協会・福島県統計協会・全国連合小学校長会・全日本中学校長会・全国高等学校長協会・福島県小学校長会・福島県中学校長会・福島県高等学校長協議会・福島県市町村教育委員会連絡協議会。

(6) 日 程

(11) 講 評

福島大学教授 文学博士 田 口 孝 之

(12) 講 演

「統計学の発展と統計教育」
東京大学教授 理学博士 宮 沢 光 一

(13) 参 加 者

県 外----- 591名

県 内----- 239名

第7節 付 属 機 関

1 福島県社会教育委員

根拠法規——社会教育委員の定数および任期に関する条例(昭24条例第56号)

目 的——社会教育委員は、社会教育に関し、教育長を経て、教育委員会に助言するため、社会教育に関する諸計画を立案し、定時または臨時に会議を開き、教育委員会の諮問に応じて、これに対して意見を述べ、必要な調査研究を行なうこと。